

表 令和5年6月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第52～67号	2日、5～7日、9日、 12日、16日、19日、21 ～26日、29日、30日 16時00分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口の噴火、爆発、噴煙、大きな噴石飛散、火映の状況。昭和火口の噴火、爆発、噴煙、大きな噴石飛散の状況。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放出量。 火山性地震、微動の発生状況。 島内の傾斜計及び伸縮計で、20日から山体膨張を示すわずかな地殻変動が観測され、22日頃から緩やかな収縮に転じて膨張は概ね解消したとみられたが、27日から、再び山体膨張を示すわずかな地殻変動が観測されている。 GNSS連続観測では、長期にわたり始良カルデラの地下深部の膨張を示す緩やかな基線の伸びがみられる。始良カルデラ地下のマグマ蓄積の状況。
		降灰予報(速報)	7日 14時07分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	7日 14時24分 14時49分 15時15分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第47～48号	2日、5日 16時00分	活発な噴火活動が継続。噴火、爆発、大きな噴石飛散の状況。集落での降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。地殻変動には特段の変化はない。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	9日 11時00分	3月下旬から爆発は減少し、噴火の規模も次第に小さくなるなど、噴火活動に低下傾向が認められる。御岳火口から概ね1kmの範囲で、大きな噴石に警戒。
		解説情報 第49～50号	9日 11時10分 12日 16時00分	3月下旬から爆発は減少し、噴火の規模も次第に小さくなるなど、噴火活動に低下傾向が認められる。GNSSによるマグマ蓄積量の増加を示す変動はない。火山性地震も少ない状態。
		解説情報(臨時) 第51～55号	18日 06時53分 18～21日 16時00分	16日から18日にかけて爆発が増加。噴火、大きな噴石飛散の状況。火山性地震、微動の発生状況。地殻変動には特段の変化はない。
		解説情報 第56号	26日 16時00分	噴火活動が継続。噴火、爆発、大きな噴石飛散の状況。集落での降灰の状況。火山性地震、微動の発生状況。地殻変動には特段の変化はない。
		降灰予報(速報)	15日 22時10分	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	15日 22時21分 16日 10時25分	噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。

令和5年6月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
口永良部島	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第3～6号	10日、11日 16時00分 23日 09時00分 16時05分	新岳火口付近及び古岳付近の浅いところで、火山性地震が一時的に増加、10日に13回発生。その他の観測では特段の変化はない。 新岳火口付近及び古岳付近の浅いところを震源とする火山性地震が増加(23日)。
		解説情報(臨時) 第7～9号	24日 10時30分 16時00分 25日 16時00分	新岳火口付近及び古岳付近の浅いところを震源とする火山性地震が増加。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	26日 04時40分	新岳火口付近及び古岳付近の浅いところを震源とする火山性地震が増加。火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生する可能性。新岳火口から概ね1kmの範囲で、大きな噴石及び火砕流に警戒。西側の概ね2kmの範囲で、火砕流に警戒。
		解説情報 第10～11号	26日 06時00分 16時00分	火山性地震が山体の浅いところで増加。震源は主に古岳付近で、新岳火口付近でも時折発生。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は少ない状態。GNSS連続観測では、特段の変化なし。
		解説情報(臨時) 第12～13号	27日 12時30分 16時00分	火山性地震が山体の浅いところでさらに増加。震源は主に古岳付近で、新岳火口付近でも時折発生。新岳火口で白色噴煙。
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	火口周辺警報	27日 18時42分	山体の浅いところで火山性地震が多発。火口から概ね2km以内に影響を及ぼす噴火が発生する可能性。新岳火口から概ね2kmの範囲で、大きな噴石及び火砕流に警戒。向江浜地区から新岳の南西にかけての火口から海岸までの範囲で、火砕流に警戒。
		解説情報 第14～17号	27日 19時05分 28日 16時30分 29日、30日 16時00分	28～30日の機動調査班の現地調査。新岳火口西側割れ目付近の地熱域に特段の変化なし。古岳の山頂部分は雲のため不明。火山ガス(二酸化硫黄)の放出量は少ない。火山性地震は山体の浅いところ、主に古岳付近で、新岳火口付近でも時折発生。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第35～43号	2日、5日、9日、12日、16日、19日、23日、 26日、30日 16時00分	山体浅部を震源とする火山性地震は4月中旬頃から下旬にかけて減少したが、その後緩やかな増加傾向がみられる。山体の西側での膨張を示唆するわずかな傾斜変動は継続。23日に傾斜変動が一時的にやや大きくなり、火山性地震が一時的に増加。また、26～27日に火山性微動が一時的に増加。29日に微弱な火映を観測。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は概ね多い状態から、24日に1日あたり2500トンに増加し、その後は多い状態。上空からの観測の状況。
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第23～26号	5日、12日、19日、26日 16時00分	噴煙、火映、火山性地震、地殻変動等の火山活動の状況。
吾妻山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第9号	1日 16時00分	大穴火口付近が震源と推定される低周波地震が5月下旬以降再び増加。浄土平の傾斜計では、3月中旬以降、大穴火口方向の隆起を示す緩やかな変化がみられる。大穴火口付近及びその周辺の噴気の状況や地熱域には特段の変化なし。
雌阿寒岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	解説情報 第1～2号	30日 10時50分 16時00分	29日15時頃からボンマチネシリ火口付近で一時的に火山性地震が増加。火口の噴気、地殻変動は特段変化なし。

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 浅間山、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。口永良部島では、26日05時から発表を開始した。